

学習課題

ラヴェルの魔術！「ボレロ」が人々を魅了してきたのはなぜだろう。

本単元で育成する資質・能力

(学校) 主体性、コミュニケーション能力

1 日 時 令和7年10月17日(金)

2 学 年 第3学年3組 30名

3 場 所 本館3F 音楽室

4 単元について

○ 題材観

本題材は、中学校学習指導要領 音楽〔第2学年及び第3学年〕の内容「B鑑賞 (1) ア(ア)鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら(ア)曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを味わって聴く」こと、「イ(ア)曲想と音楽の関わり」について理解することに関わる学習を中心としている。

鑑賞の授業では、生徒が音楽の良さや美しさをより深く味わい、自分なりの価値観を持って聴くことを目標としている。そのためには、その音楽固有の雰囲気や表情、味わいなどがどのような音楽の構造によって生み出されているのかを捉え、自分とは異なる他者の考えにも耳を傾けるなど他者との関わりの中から自分の価値意識を再確認し、自分としての考えを深めていくことが大切である。

本題材で取り上げる「ボレロ」は、3拍子・2小節からなるボレロのリズムと、2つの旋律を繰り返すという一見単純な構成だが、ソロ楽器の変化による音色の移り変わりや異なる調性で重なる旋律の雰囲気の変化、強弱の変化などによって楽曲全体を通して曲が盛り上がるように作曲されており、「管弦楽の魔術師」と評されるラヴェルのオーケストレーションの緻密さが感じられる楽曲である。この曲の音楽の構成をとらえ、音色の違いを比較聴取することで、比較的分かりやすい構成でありながらも人々を惹きつける魅力を感じさせたい。

○ 生徒観

本学級の生徒は歌唱の授業に対して積極的に取り組んでいる。特に授業アンケートにおいて「歌唱の授業が好きだ」という質問には88%の生徒が肯定的な回答をしており、学級の仲間と歌うことが好きで、仲間と心を合わせてひとつの音楽を作ることの達成感を十分に感じている。

一方で、「鑑賞の授業が好きだ」という質問への肯定的な回答は70%にとどまっており、「眠くなる」「言葉で表現し伝えるのが難しい」などの想いを抱いている。また、「鑑賞の授業では、今まで学習してきた曲と比較しながら、その曲ならではの良さを考えながら鑑賞している」という質問には30%が否定的な回答をしており、音楽の固有性や共通性に気づかせる指導が必要であることがわかる。

○ 指導観

指導に当たっては、新たな知識を習得してから音楽の良さや美しさを味わって聴くなど、新たな知識の習得が一方向的にならないよう留意し、音楽の良さや美しさを味わう過程で知識を得たり、生かしたりすることができるようにする必要がある。

また、楽曲の鑑賞を通して浮かんできたイメージや情景を自分の言葉で表現し、伝えることが難しい生徒には、語句カードを活用し、アンケートから見えた生徒の困り感をなくしていく。楽曲固有の良さや美しさをより深く味わうために、生徒が自分なりの価値観を持ったうえで鑑賞し、批評しながら、その楽曲ならではの良さを見つけていけるように指導していきたい。

5 学校が育成を目指す資質・能力

本校が教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力、コミュニケーション能力、主体性」である。この目指す資質・能力を育成するためには、各教科・領域等の授業における「展開場面」において、生徒が主体的に活動している時間の質と量を高めることが重要である。更に、生徒が主体的に活動するためには、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」が不可欠であると考え、研究を重ねている。

本単元においても、本校では「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」を行い、少人数班で考えを何度も練り直させ、思考したことをミニホワイトボードに表現した後全体へ発表させるスタイルをとっている。

授業の展開の場面で（ミニホワイトボード等を使用して）	資質・能力	意欲・態度	知識・スキル		
		主体性 （自己を認識する力、自分の人生を選択する力）	コミュニケーション能力 （表現する力）		
レベル1	○課題に対して、自分の考えを持ち、取り組もうとしている。	（書く・話す・表現 speak） ○自分の考えや意見を、自分のことばで表現することができる。	（聞く） ○相づちを打ちながら、途中で口をはさまず、きくことができる。	（やりとり） ○話を聞いて質問することができる。	
レベル2	○課題に対して、自分の考えを持ち、自ら進んで取り組もうとしている。	（書く・話す・表現 tell） ○自分の考えや意見を根拠を挙げて、相手を意識しながら、適切な方法で表現することができる。	（聴く） ○相手の話の組み立てや構造を考え、話の意図や要点を整理しながらきくことができる。	（やりとり） ○話を聞いて、内容を深めるために、質問ができる。	
レベル3	○自ら課題を見つけ、自分の考えを持ち、よりよい方法を選択し、自ら進んで取り組もうとしている。	（書く・話す・表現 talk） ○自分の考えや意見を、根拠を挙げて分かりやすくまとめ、目的や場に応じて、適切な方法で論理的に表現することができる。	（訊く） ○相手の考えについて、根拠の信頼性を判断しながらきき、話された内容と自分の意見をふまえて共通点や疑問点を明確にし、相手にたずねることができる。	（やりとり） ○話を聞いて質問をした後に、自分の意見を述べ、内容をさらに深めることができる。	
レベル4	やりたいことを自ら見つけ、分析し、（大人の手も借りながら）自分たちで実行できる。	少数意見を尊重しながら、臨機応変に対応し、話し合い活動ができる。			

6 題材の目標

（1）曲想と音楽の構造との関わりについて理解すること。【知識】

（2）音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。【思考・判断・表現】

（3）オーケストラの楽器が生み出す豊かな響きに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の活動に取り組むとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにする情操を培うこと。【主体的に取り組む態度】

7 評価規準

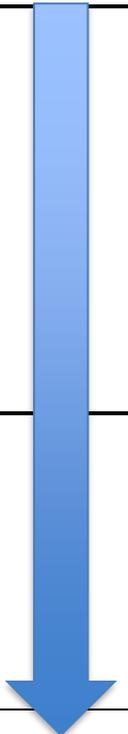
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>(技能に関する評価規準は設定しない。)</p>	<p>音色を知覚し、その働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p>	<p>オーケストラの楽器が生み出す豊かな響きに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

8 指導計画 (全17時間)

教科・領域の本質的な問い

音楽を聴くことで人生はどう豊かになるだろう。

時間	学習課題 ねらい	生徒の行動・思考	重点	評価		
	指導内容			知・技	思	主
1	<p>学習課題：「ボレロ」の音楽の法則性を見つけよう。</p> <p>ねらい：「ボレロ」の音楽の構造について、リズムと旋律の視点から理解できる。</p> <p>「ボレロ」の音楽の構造(リズムの繰り返し、2つの旋律の繰り返し)に気づかせる。</p>	<p>・ボレロのリズムを叩き、リズムの反復を感じ取る。</p> <p>・2つの旋律を聴き比べ、雰囲気の違いを感じ取る。</p>	知	<p>曲想と音楽の構造との関わりについて理解している</p> <p>【ワークシート】</p>		<p>オーケストラの楽器が生み出す豊かな響きに関心を持ち主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組んでいる。</p> <p>【行動観察、振り返り】</p>
2	<p>(本時)</p> <p>学習課題：ラヴェルの魔術！「ボレロ」が人々を魅了してきたのはなぜだろう。</p> <p>ねらい：音色の変化に着目し、音色の違いが生み出す雰囲気の変化を味わって鑑賞することができる。</p> <p>音色の変化が生み出す雰囲気の違いを感じ取らせる。</p>	<p>・繰り返される旋律の変化を聴き、違いを感じ取る。</p> <p>・音色の変化がなかった場合、どのような曲想になるかを比較して音色の変化があることの良さを感じ取る。</p>	思		<p>音色を知覚し、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている</p> <p>【ワークシート】</p>	
3	<p>学習課題：地球音楽親善大使！「ボレロ」の良さを伝える紹介文を書こう。</p> <p>ねらい：感じ取った曲想をもとに「ボレロ」ならではの良さを自分の言葉で説明できる。</p>	<p>・感じ取った曲想や学習したことをもとに、自分の言葉で「ボレロ」ならではの曲の良さを考えながら批評文を書く。</p>	主			



音楽を聴いて考えたことや学習内容をもとに、批評文を書かせる。					
--------------------------------	--	--	--	--	--

9 本時の展開

(1) 本時の目標

曲想の変化を感じながら鑑賞することを通して、音色の違いが生み出す曲想の変化を味わって鑑賞することができる。

(2) 本時の評価規準と生徒記述の例

音色を知覚し、その働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えることができる。【思考力・判断力・表現力】

生徒の記述例

単純に同じリズムと旋律を繰り返すだけでなく、音色やハーモニーを変化させることで雰囲気を変えながら曲が展開していくことが分かった。音色が変わらないときと比べて、響きが豊かに聞こえたのは、曲が進むごとにオーケストラの楽器を同時に演奏していたからだと思う。

(3) 準備物

- ・クロムブック・ワークシート・音源（ボレロ原曲，ピアノ編曲）

(4) 本時の流れ（2時間目／全3時間）

過程	□学習活動 教師と生徒のやりとり	指導上の留意事項 (○) ・予想される生徒の反応 (・)	評価規準〔観点〕 ★資質・能力【評価方法】
1 常時活動 10分			
	<input type="checkbox"/> ストレッチをして、声出しをする。 <input type="checkbox"/> 「メッセージ」「虹」を歌う。		
2 導入 10分			
	<input type="checkbox"/> 前時の確認をする。 教師 前回「ボレロ」という曲を学習しました。この曲にはリズムと旋律に法則性がありました。リズムにはどんな法則があったでしょう。 生徒 同じリズムが繰り返される。 教師 どんなリズムでしたか。たたいてみよう。 旋律にはどんな法則がありましたか。 生徒 2つの旋律が繰り返される。 教師 どんな旋律でしたか。2つにはどんな違いがありましたか。	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">導入の工夫</div> <input type="checkbox"/> 口頭での説明だけにならないように、実際に音で聴いて、音から感じ取れるようにする。 <input type="checkbox"/> リズムと旋律の反復を押さえ、冒頭部分を流して実際の音楽でも確認をする。	

<p>生徒長調の明るい旋律と♭がついた暗めの旋律。</p> <p>□曲がどのように展開していくか予想させる。</p> <p>教師ボレロは長年音楽ファンを魅了し続けてきた曲です。この後、音楽がどうなれば、この曲がもっと魅力的になると思いますか。</p>	<p>○聴いた人を惹きつけるのはなぜかを考える活動につながるように、自分ならどうやって魅力的な音楽にするか、考えさせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋律を記憶に残したいから最後までそのまま同じリズムと旋律を繰り返すと思う。 ・途中で変化を入れて、もっと感動的な旋律を加えたい。 ・もっと聴きとりやすいように、大きな音にしたい。 	
<p>学習課題：ラヴェルの魔術！「ボレロ」が人々を魅了してきたのはなぜだろう。 ねらい：曲想の変化を感じながら鑑賞することを通して、音色の違いが生み出す曲想の変化を味わって鑑賞することができる。</p>		

3 音色の変化と曲想の変化を感じ取る 10分

<p>展開前半</p>	<p>□中間部分から「ボレロ」を鑑賞する。 教師では、ラヴェルはこの曲をどう展開させていったのか、実際に聴いてみよう。</p> <p>生徒何回も同じリズムと旋律が繰り返され、最後に少しだけ違う音が出てきて終わった。</p> <p>教師リズムと旋律については、最後まで変わりませんでしたね。では、今日のテーマである音色については、どうだったかな。</p> <p>生徒どんどん変わっていた。</p> <p>教師どう変わっていたかな。同じ楽器で演奏を工夫したのか、楽器を変えたのか。</p> <p>生徒楽器が変わっていた。</p>	<p>○隣同士で聴きとれたことを交流することで、自分が聴きとったことに自信を持たせたり、新たな視点に気づかせたりする。</p> <p>○クロムブックを活用し、気になるところを何度でも聴けるような支援をする。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block; color: red;">ICTの活用</div> <p>○実演をしながら演奏上の工夫による音色の変化ではなく、楽器の変化や重なりによる音色の変化であることを気づかせる。</p>	
-------------	--	---	--

4 音色が変化する良さや美しさを比較聴取して考える 15分

<p>展開後半</p>	<p>□音色を単一にした「ボレロ」を聴き、原曲との違いを感じ取る。 教師今から音色の変化をなくした「ボレロ」を流します。どんな感じがするか聴いてみましょう。 補助発問この音楽だと、ボレロのストーリーを表現できていますか。</p> <p>ストーリー・・・セビリアのとある酒場で一人の踊り子が足慣らしをしている。周りの客も次第に興味を持ち始め、ついにはみんなで踊りだす。</p>	<p>○ピアノ音源を準備し、音色の変化がないと音楽の印象がどうなるか比較聴取させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音色の変化がないと単調でつまらない。 ・ピアノの音の響きだとあっさりし過ぎている。 	<p>音色を知覚し、その働きが生み出す雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えている。</p> <p>〔思・判・表〕 【ワークシート】</p>
-------------	---	--	---

	<p>教師では、もう一度ラヴェルのボレロを聴いてみましょう。 ラヴェルは音色をどのように工夫していますか。</p> <p>生徒使う楽器が変わっている。</p> <p>生徒だんだんいろんな楽器の音が重なっている。</p> <p>教師では、その音色の変化は、どんなイメージを生み出していますか。</p>	<p>○音色の変化によって感じ取れるイメージをワークシートに記入させる。</p> <p>○自分の言葉での記述が難しい生徒には語彙カードを使用し、知覚と感受を結び付けやすいように支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音が重なっていくと、パイプオルガンの響きのように、だんだんきらびやかになっていく。 ・旋律を演奏する楽器が増えていくので、だんだん曲が盛り上がっていく。 	
--	---	--	--

5 まとめ・振り返り 5分

<p>ま と め ・ 終 末</p>	<p><input type="checkbox"/>ラヴェルが変化させなかったものと、変化させたものをまとめる。</p>		
	<p>変化させなかったもの：リズム、2つの旋律 変化させたもの：音色（楽器を変化させる、組み合わせる）</p> <p>旋律を演奏する楽器を変化させたり、組み合わせたりすることで、ストーリーの盛り上がり表現しつつ、オーケストラの楽器の音色を楽しめるような工夫がされている。</p>		
	<p><input type="checkbox"/>振り返りを記入する。</p>	<p>○次時の批評文につながるように、「ボレロ」ならではの良さについても考えさせるようにする。</p>	<p>オーケストラの楽器が生み出す豊かな響きに関心を持ち、鑑賞の活動に主体的に取り組んでいる〔主体〕</p> <p>【ワークシート】</p>

ねらいに対する評価規準を示すルーブリック（パフォーマンス評価）

尺度（評点・レベル）	評価規準
B（おおむね満足できる）	音色を根拠にして、知覚したことと感受したことを関わらせながら「ボレロ」のよさや美しさを自分の言葉で表現している。
C（努力を要する）	「ボレロ」のよさを自分なりの言葉で表現している。